



## 地上14mの妙技！年に1度ここでしか見られない舞男の迫真演技 国選択・茨城県指定無形民俗文化財「撞舞（つくまい）」開催（7/29）

約450年、地域の力により受け継がれ、龍ケ崎市の夏の風物詩である国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞（つくまい）」が平成30年7月29日（日）午後6時頃から龍ケ崎市撞舞通りで開催されます。

撞舞は、年に1回毎年7月下旬の3日間に執り行われる龍ケ崎市上町八坂祭礼の最終日に開催されます。

高さ14mの柱に笛や太鼓の囃子に合わせて暗緑色のたっつけ袴に蛙の面をかぶった「舞男（まいおとこ）」と呼ばれる演者が登り、柱の上で逆立ちや弓を射ったりする伝統芸能です。雨乞いや豊作祈願、厄除けの意味があるといわれています。



今年も昨年に引き続き、龍ケ崎市撞舞保存会（会長：山崎 忠）と龍ケ崎市観光物産協会（会長：塚本 裕）が連携し、撞舞の迫力を肌で感じてもらうことで、伝統ある「撞舞」が後世に引き継がれることを願い、市内の子どもたちを会場に招待する予定で準備を進めています。

|      |   |
|------|---|
| ■日 時 | 平成30年7月29日（日） 午後6時頃から   |
| ■場 所 | 龍ケ崎市根町「撞舞通り」（所在地：龍ケ崎市3429番3地先）  |
| ■主 催 | 龍ケ崎市撞舞保存会   |
| ■詳 細 | 午後5時から交通規制となり、撞舞の演技の前に、貝原塚おごど囃子と龍神太鼓の演技が披露されます。また、撞舞終了後には八坂祭礼の一環として馬が撞舞通りを3往復する「神馬（しんめ）」も行われます。 |
| ■参加者 | 来場者 約10,000人（見込み）   |
| ■資 料 | 龍ケ崎市の「撞舞」 別添参照  |

担当課

龍ケ崎市 産業経済部 商工観光課 観光物産グループ  
担当者：青山・秋山・森下（あおやま・あきやま・もりした）  
連絡先：0297-60-1536（直通）

◆会場地図

